

## チャレンジタイムの感想

櫛谷小学校 米川 勝弘

子供たちにチャレンジタイムの声を聞いてみると、

「私は、算数が苦手でした。でも、チャレンジタイムをしてから、ちよつとずつ、算数が好きになりました。計算ができて、先生方にほめてもらえるととっても嬉しいです。」「チャレンジタイムをして、計算が速くなったし、計算のやり方もよくわかるようになってきました。チャレンジタイムをがんばってよかったと思います。」

「僕は文章題が大きかったです。でも、チャレンジタイムに挑戦していくうちに文章問題がとけるようになってきました。面白いです。これからもがんばりたいです。」

「3年生のときは、ときどき計算まちがいが多かったけど、4年生になったらほとんどまちがえなくなったから、力になっているなと思いました。10マス計算をする時、何秒でできるか楽しみです。」

「3年生から1年間チャレンジタイムをしましたが、自分ですごく力がついたらなあと思いました。それと、2年目なので、チャレンジタイムの楽しさに気がついてきました。」

と笑顔で答えました。

ゲストティチャーの4人の先生方には、お忙しい中、月に2回櫛谷小へ来校いただき、子どもたちをご指導くださり、いつもありがたく思っております。子どもたちにあたたかい言葉かけをされながら、真剣に取り組まれる姿は、私たち教師の手本となるものです。

これからも末永くご指導をよろしく願いいたします。



## シルバーカレッジ地域交流授業に参加して

こどもたちの学習支援委員会 (国12) 道満 達士

例年のように6月24日(火)、25日(水)、26日(木)の3日間、カレッジホールで地域交流授業が行なわれました。

子どもたちの学習支援活動委員会では、中沢 保夫委員長が多数のシルバーカレッジの学生を前にして、子どもたちの学習支援活動について説明しました。

出席した学生さんに渡した資料は

グループ わ の概要

平成20年度 グループ わ

「子どもたちの学習支援活動」

要請の小学校と現在支援活動を

いる支援校の数

情報ぎやらりー42号、子どもたちの学習支援活動のページの抜粋です。

中沢委員長の説明と、詳しい資料をみながら出席者は熱心に耳を傾けていました。

この6月の地域交流会ではシルバーカレッジの松本容子教務リーダーからは「地域交流活動」の説明と神戸市市民参画推進局の中西 理香子主幹から「みんなで取り組もう美しいまち神戸」という講演。インターネットクラブの「活動報告ホームページへの登録」などあり有意義な授業でした。

## 季節の草花

## オオマツヨイグサ

生8-文 久保 知彦

アカバナ科で、荒地などで夜に直径7cmくらいの黄色い花を咲かせ、草丈は150cmにもなるこの植物は、北アメリカ原産で明治初期(1870頃)に観賞用に導入されたものが野生化したものです。同じ頃渡来したメマツヨイグサをはじめオニマツヨイグサ、コマツヨイグサなどのマツヨイグサの仲間はいっぱんに「つきみそう」と呼ばれています。太宰治の「富嶽百景」にある「富士には月見草がよく似合ふ」とか、竹下夢二の「宵待草」(マツヨイグサを間違っただけ表現した?)や、野球の野村監督の代名詞になったりしていますが、本当は「ツキミソウ」という植物は別にあります。

嘉永4年(1851)に渡来した植物で、草丈は60cm位で暗くなってから白い花が咲き、朝には紅変してしぼんでしまいます。

同じ頃渡来したマツヨイグサのほうは野生化してまたたく間に日本国中にひろがりましたが、こちらのほうはその力がなく、栽培種

として細々と生きながらえたようです。

マツヨイグサは閉花後赤味を帯びますが、オオマツヨイグサは黄色いままなので区別できます。

